

国有林材の安定供給システム販売協定者の公表

令和5年7月14日

令和5年6月13日付け公募した、「令和5年度国有林材の安定供給システム販売(製品販売)(第2次公募)」の協定者を決定しましたので、下記とおり公表します。

物件番号	森林管理署等	樹種	協定数量(m ³)	応募者数	最高点	最低点	協定者	提案内容の概要
2-01	磐城	スギ、ヒノキ	5,000	1	76	-	協同組合いわき材加工センター	JAS(機械等区分、人工乾燥構造、人工乾燥造作、人工乾燥下地)、第二種木材関連事業者等合法木材登録業者の認定を取得し、板材から柱、平角、大断面までJAS製材品を供給する。乾燥機、加工機の充実により大断面の乾燥やバリエーション豊かなプレカット加工が可能となっており、ログハウスや中・大型木造建築物等での大径材の需要増を目指している。
2-02	福島	スギ、ヒノキ アカマツ	3,080	1	83	-	住友林業フォレストサービス株式会社	グループ全体で中大規模建築の木造化に取り組み、国産材の利用を推進し、国産材の需要拡大を図る。また、原木運搬及び製品運搬をラウンド輸送することで、物流コストの削減し、効率的な運送計画により、二酸化炭素排出量を削減する。
2-03	塩那	スギ、ヒノキ	8,000	1	84	-	株式会社トーセン	グループ内の28工場が連携し、更なる生産性の向上を図る。福島県内の2提携工場、令和4年度に新たに栃木県内に1製材工場を新設、令和5年度にも新たに栃木県・群馬県内に2製材工場を新設予定で、全体で年間に製材用材36,000m ³ 、チップ用低質材12,000m ³ の生産増を目指す。
2-04	茨城	スギ、ヒノキ	3,400	1	80	-	宮の郷木材事業協同組合	高品質の柱・間柱・土台等を生産し、国産材製品を安定供給するとともに、曲材等は集成材ラミナ、端材等は羽柄材を製材している。その他、製紙チップや家畜敷料としてのおが粉を生産し、パークもバイオマス燃料に利用するなど、木材を無駄なく使うことで、循環型・持続可能な仕組みを実施する。
2-05	茨城	スギ、ヒノキ	16,600	1	80	-	宮の郷木材事業協同組合	高品質の柱・間柱・土台等を生産し、国産材製品を安定供給するとともに、曲材等は集成材ラミナ、端材等は羽柄材を製材している。その他、製紙チップや家畜敷料としてのおが粉を生産し、パークもバイオマス燃料に利用するなど、木材を無駄なく使うことで、循環型・持続可能な仕組みを実施する。
2-06	千葉	スギ、ヒノキ 低質材N	1,000	1	84	-	株式会社トーセン	グループ内の28工場が連携し、更なる生産性の向上を図る。福島県内の2提携工場、令和4年度に新たに栃木県内に1製材工場を新設、令和5年度にも新たに栃木県・群馬県内に2製材工場を新設予定で、全体で年間に製材用材36,000m ³ 、チップ用低質材12,000m ³ の生産増を目指す。